

挑みつづける、変わらぬ意志で。



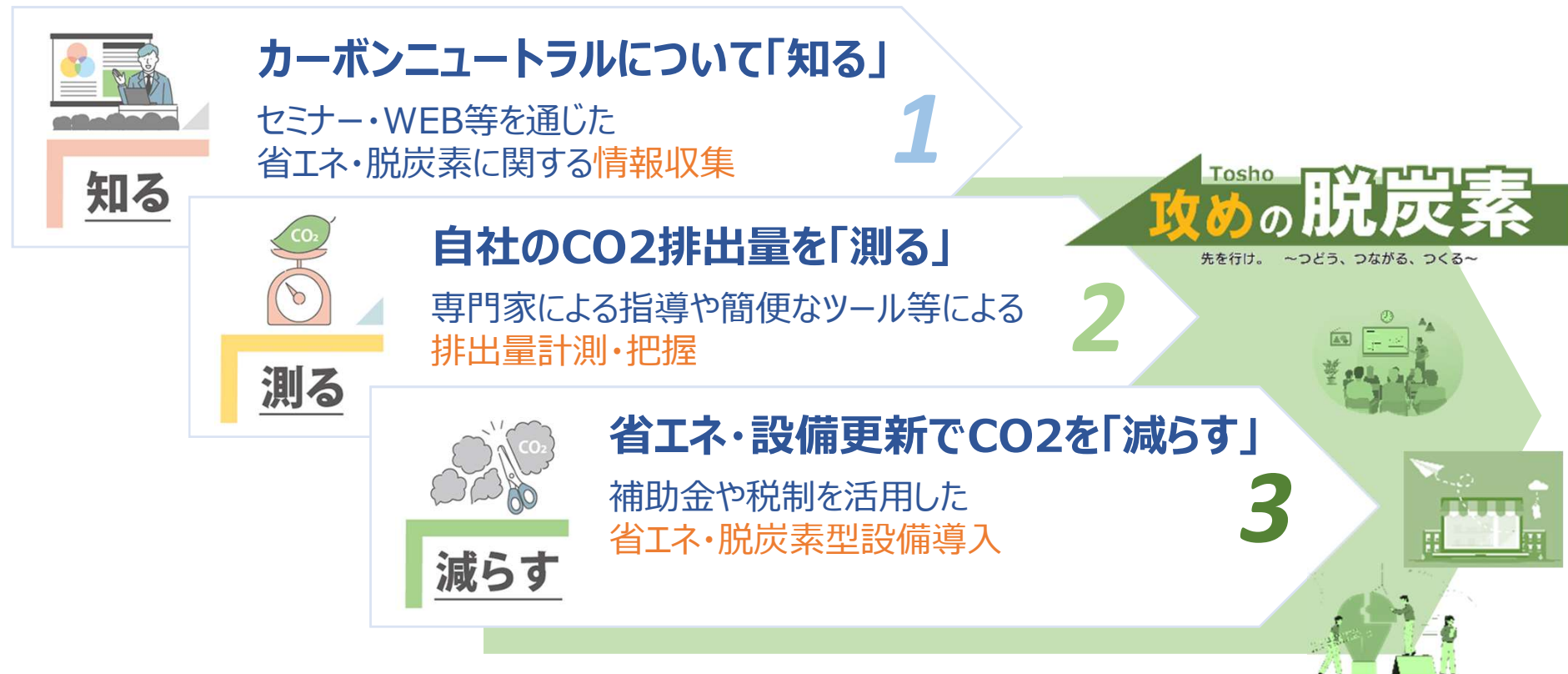
東京都 HTT・ゼロエミッション推進会議（第4回） 資料 「Tosho 攻めの脱炭素」について

2024年5月30日
東京商工会議所

東京商工会議所「Tosho 攻めの脱炭素」(取組の経緯)

1

- 東京商工会議所は、中小企業においてカーボンニュートラルへの理解が十分浸透していない現状を踏まえ、「知る・測る・減らす」の3ステップ、特に「知る(情報収集＝セミナー等)」を中心に支援を行ってきた。
- 今般、より実践的な排出削減の取組み＝「測る・減らす」を重点的に後押しするため、2023年8月、新たに「Tosho 攻めの脱炭素」事業をスタート。



「Tosho・攻めの脱炭素」 事業概要

2

- 2050年カーボンニュートラル実現へ、**中小企業にも脱炭素＝温室効果ガス排出削減の取組み**が求められる。エネルギー価格高騰に加え、2028年度に炭素賦課金導入も決定。**省エネ・脱炭素によるコストダウンも喫緊の課題。**
- 会員中小企業による**省エネ・脱炭素の取組みを、「攻め」＝経営改善と新たなビジネスチャンスにつなげる**べく、「**塾**」「**市場**」「**ラボ**」の3事業からなる支援事業「Tosho・攻めの脱炭素」を立ち上げ。



Tosho 攻めの脱炭素 ポータルサイト

東商脱炭素 “塾”

省エネ・脱炭素に取り組む中小企業が「**つどう**」少人数・実践型勉強会



東商脱炭素 “市場”

省エネ・脱炭素のニーズとシーズが「**つながる**」マッチングサイト



東商脱炭素 “ラボ”

企業と大学・研究機関の連携により新たな省エネ・脱炭素ビジネスを「**つくる**」



会員中小企業による省エネ・脱炭素の取組をコストダウン・経営改善・ビジネスチャンスに

東商脱炭素 “塾”

➡ 業種別5クラスに33社が参加、自社の排出削減計画を策定（9月～11月）。
さらに受講後7社が省エネルギーセンター「省エネ最適化診断」により実践へ

食料品製造業	:	6社
金属製品製造業	:	8社
機械製造業	:	4社
卸・小売業	:	8社
ビル・オフィス	:	7社

【参加者の声】

- 少人数のため、具体的に自社の数字を使い、自分で手を動かしながら参加できた
- 脱炭素化中長期計画を作成する際に、どのような対策やエネルギー転換をすれば良いのか具体的なイメージをつかめた。



東商脱炭素“塾”第3回開催風景（金属製品製造業）

東商脱炭素 “市場”

➡ **53社・73サービス（うち会員優待13件）**
を掲載。サイト閲覧数は開設から7か月で
累計3,653件

コンサルティング : 12サービス
省エネ : 28サービス
再エネ : 11サービス
資金支援 : 8サービス
その他 : 14サービス

➡ **「Toshoグリーンビジネスピッチ2023」**
(2023.12.12開催) では、オープンイノベー
ション部門・大手2社のピッチに**中小企業61社**
63名が参加。4社が個別面談へ



Tosho グリーンビジネスピッチ 2023開催風景

ピッチ企業	個別面談 エントリー	個別面談へ 進んだ企業
 TOKYO GAS	3社	2社
 三菱マテリアル	3社	2社

① オープンイノベーション部門

「脱炭素でビジネスを拡げたい」中小企業 × 「共同開発・技術連携に取り組みたい」企業

② 脱炭素支援サービス部門

「脱炭素に取り組みたい」中小企業 × 「脱炭素支援サービスを提供する」企業

東商脱炭素 “ラボ”

➡「東工大×東商 脱炭素分野の新技术発表 & 情報交換会」（2024.2.27）に、共同研究・事業化に関心を持つ中小企業関係者ら**35社42名**が参加



東工大×東商 脱炭素分野の新技术発表 & 情報交換会 開催風景



東京工業大学 助教 小玉 聡 氏

テーマ：【CO2分離・吸収】
低消費エネルギー・低環境負荷でCO2分離・回収する技術



東京工業大学 教授 塚原 剛彦 氏

テーマ：【資源循環】
レアメタルを高度に分離回収、効率的な再資源化

2024年度の取組 「Tosho 攻めの脱炭素」強化・拡充

6

初年度は実質下期のみの稼働ながら、3事業とも一定の成果。“塾”は参加企業募集に苦戦したが参加者の満足度高く、“市場・ラボ”のイベントでは少数ながら具体的成果も。

2024年度は、引き続き「知る」（関心を高める）ためのセミナー等開催とともに、3事業の強化・拡充により、「測る・減らす」=測定・削減の取組と新技術・新ビジネス創出を後押し

東商脱炭素 “塾”

省エネ・脱炭素に取り組む中小企業が「**つどう**」少人数・実践型勉強会



「**省エネ、再エネ、環境ブランディング**」の3クラス開講

東商脱炭素 “市場”

省エネ・脱炭素のニーズとシーズが「**つながる**」マッチングサイト



大阪商工会議所、名古屋商工会議所と合同で、**3都市連携「グリーンビジネスピッチ」**を開催

東商脱炭素 “ラボ”

企業と大学・研究機関の連携により新たな省エネ・脱炭素ビジネスを「**つくる**」



複数の**大学・研究機関等**が一堂に会した「**新技術発表&情報交換会**」を開催

2024年度における事業の強化・拡充、運営の改善

2024年度の取組 新規事業「CO2見える化サポート」

7

日本商工会議所が民間3社（アスエネ、Zeroboard、e-dash）と包括提携。

東商でも本事業を採用し、「Tosho 攻めの脱炭素」の一環として会員事業者へ案内を実施。

会員特典付きのCO2排出量「見える化」ツール導入・利用が可能。

商工会議所会員事業者向け

商工会議所 CO₂ 見える化サポート

見えサポ

取引先から脱炭素に取り組むように言われたけど何をすれば…

高くなったエネルギーコストを何とかしたい…

CO₂ 排出量ってどうやって算定するのだろう…

商工会議所が脱炭素への取組み「測る」を支援します！

カーボンニュートラルについて知る

自社のCO₂ 排出量を測る

省エネ・設備更新でCO₂ を減らす

商工会議所は、会員事業者の脱炭素に向けた取組みの3つのステップ「知る」「測る」「減らす」のうち、「測る」＝企業の電力・ガスなどのエネルギー使用量から二酸化炭素・温室効果ガスの排出量を算定・把握すること、すなわち「見える化」をサポートします。

まずはお金はかけずに、自分ですぐに取り組みたい方

少しお金はかかっても、サポートがあるツールを導入したい方

「CO₂ チェックシート」

日本商工会議所が提供する EXCEL のツールです（ダウンロード無料）。

<https://eco.jcci.or.jp/checksheet>

クラウド型見える化ツール

をご紹介！詳しくは裏面を参照ください。

会員特典あり！

会員事業者向け温室効果ガス排出量見える化ツール導入支援サービス

商工会議所 CO₂ 見える化サポート **見えサポ** がおすすめする

クラウド型見える化ツール

ツール	e-dash	Zeroboard	アスエネ
社名	e-dash 株式会社	株式会社ゼロボード	アスエネ株式会社
概要・特徴	・算定結果について大手監査法人による第三者検証を実施 ・導入時キックオフミーティングを必ず実施	・ISO14064-3 に準拠した検証手順に基づいて妥当性を保証済み ・ユーザーコミュニティ「All Aboard!」あり ・オンライン面談によるオンボーディング支援あり	・算定手順について第三者認証取得 ・導入時にオンライン面談サポート（勉強会・操作説明） ・エコアクション21 中央事務局と連携
料金目安（税別）	月 1 万円～	月 2 万円～ （支払は年払のみ）	個別見積
会員特典	排出量の開示に関するコンサルが無料	初期費用（2.4 万円～）無料	初年度 15%キャッシュバック*
画面イメージ・サービス紹介ページ	 https://e-dash.io/	 https://zeroboard.jp/	 https://bit.ly/3P1l8cd
お問い合わせ・ご相談・お申し込みはこちら	https://share.hsforms.com/13xphn461wP59bytb4BQd2m3	https://forms.immedia.io/s/ctt3w22v008z30ympg9wakdl	上記URLの「無料でもお申込み」から申込。 「お問い合わせの内容」欄に所属商工会議所名を入力してください

*適用条件あり

各ツールの詳細については各社ホームページを参照ください。

お問い合わせ先
（各ツールに関しては各社へお問い合わせください。）
東京商工会議所
担当：産業政策第二部 平栗、高橋
Mail: sansei2@tokyo-cci.or.jp TEL: 03-3283-7836

脱炭素取組全般に関してはこちらまで：
日経エネルギー・環境ナビ
<https://eco.jcci.or.jp/>

挑みつづける、変わらぬ意志で。

